

—— 昨年は御社の創業50周年でした。

私どもは町の電器屋さんから始まりました。高度経済成長で普及した家電製品の取り付けや修理、交換などを行っているうちに、お客様から給排水の相談や施工を求められるようになり業務を追加しました。さらに公共工事なども扱うようになり、現在の設備工事部になりました。もう一つに環境ファシリティー事業部があり、太陽光発電等再生可能エネルギーを活用した発電事業の企画・運営などを行っています。

—— 環境分野に重点を置いたのですか。

環境分野への挑戦は「トオヤマしかでき



株式会社

トオヤマ



代表取締役 遠山 重徳氏

ない仕事」を求めた道の一つです。1990年代末から進出し、現在は太陽光以外にも小水力や木質バイオマス発電を手掛けています。豊かな森林と地下水を保有する岐阜県ではこの地域特性を生かさない

—— 産官学連携を生かして新たなエネルギーシステムを進めていますね。

協議会が設立したと同じ頃、政府がエネルギー基本計画を閣議決定し、弊社では水素社会の実現へ取り組みを進

今春、県内初の水素ステーション開設

い手はありません。2014年に、ぎふ長良川再生可能エネルギー協議会（通称GⅢ）を設立し、弊社を含む6社と岐阜大学、県・市町村の産官学連携で環境保護と経済成長が両立する社会を目指しています。

めています。現在の水素エネルギーの中心で、精製過程においてCO₂を排出しています。ここに地域特性を生かした再生可能エネルギーを活用するのです。例えば、太陽光発電

の電気でも水を分解して水素を抽出します。その水素を貯蔵して電気が必要な施設に供給し、燃料電池を通して発電するというサイクルを作ります。既に加茂郡八百津町でインフラ構築を進めており、今春には同町を拠点に土岐市と羽島郡岐南町に水素ステーションを開所します。水素社会は国の工程表でも20年代に住宅の自家発電に本格導入を目指すとしており、遠い未来ではありません。弊社は今後もお客様や時代のニーズに寄り添い、快適な暮らしを支えるエネルギーの普及を目指していきます。



概要

〒500-8055 岐阜市笹土居町27番地
TEL.058-265-2729

設立 1965年5月3日創業

資本金 3,000万円

役員 代表取締役 遠山重徳

従業員数 22人(2015年12月)

事業内容 電気設備工事の設計・施工・保守管理、給排水衛生設備工事の設計・施工・保守管理、再生可能エネルギーを活用した発電事業の企画・運営・コンサルティング業務等

<http://www.tohyama.co.jp>